

葦毛湿原へのアクセス



愛知県指定天然記念物

い もう しつ げん
葦毛湿原

公共交通機関

- 高速道路 豊川ICより40分、浜松西ICより40分
- バス 豊橋駅より、飯村岩崎線「岩崎」下車、徒歩5分
- 路面電車 豊橋駅より、赤岩口行き「赤岩口」下車、徒歩30分
赤岩口よりバス乗継、飯村岩崎線「岩崎」下車、徒歩5分
- 自家用車 無料駐車場2ヶ所、豊橋駅より20分

編集・発行 豊橋市教育委員会、豊橋市美術博物館

TEL.0532-51-2879 平成21年3月31日

協力 豊橋市自然史博物館、保護の会、坂田樹美、中西正、星野清治、吉田豊

豊橋市教育委員会



湿原の保護にご協力ください

葦毛湿原観察の4つのマナー

湿原は植物・動物・昆虫・気候等の微妙なバランスのもとに維持されている環境です。将来にわたって良好な状態を保持していくために、見学者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 ゴミは持ち帰りましょう。**
 ・豊橋市は530運動発祥の地です。
- 2 湿原内に踏み込まない。**
 ・木道を外れて湿原内に入らないで下さい。
 ・写真撮影の三脚を湿原内に入れないで下さい。
- 3 何も持ち出さない。**
 ・植物や昆虫などを採取しないで下さい。

- 4 何も持ち込まない。**
 ・外国産や他地域の植物や昆虫、園芸植物などを持ち込まないで下さい。湿原の植物に悪影響を及ぼします。
 ・ペット連れでの見学はご遠慮下さい。フンをしたり、病気をうつしたりして湿原の動物に悪影響を及ぼします。



1970年5月4日撮影
(広場の説明看板付近から南へ)

愛知県指定天然記念物

葦毛湿原は、愛知県文化財保護条例に基づき、愛知県教育委員会が指定した「愛知県指定天然記念物」です。湿原を良好な状態で未来に引き継いでいくためにも、見学者の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

葦毛湿原の特徴

葦毛湿原は、豊橋市東部にある弓張山地の標高60～70mの山麓に広がっている湿原です。湧水によって成り立ち、土壌が薄いという特徴をもつ湧水湿地で、このタイプの湿地としては、東海地方で最も規模の大きなものです。

葦毛湿原には、トウカイコモウセンゴケ、ミカワバイケイソウなど、当地方に固有に分布する植物や、ミカズキグサ、ヌマガヤなど寒冷性の植物、ミミカキグサなどの暖地性の植物が自生し、東海地方の自然の成り立ちを知ることができる学術的に貴重な場所です。

1 東海地方に固有の植物

当地方に固有の植物群は東海丘陵要素植物あるいは周伊勢湾要素植物と呼ばれ、「ミカワ(三河)」の名を冠したものも多くあります。

葦毛湿原には、ミカワバイケイソウ、ミカワシオガマ、ミカワシンジュガヤ、シラタマホシクサ、ヒメミミカキグサなどがあります。



ミカワバイケイソウ
開花期:4月下～5月下



ミカワシオガマ
開花期:10月上～10月中



ミカワシンジュガヤ
開花期:8月上～8月下

2 北方系植物

氷河期に陸続きになった大陸や、高地から低地に侵出し、湿地に取り残された植物で、ヌマガヤ、イワショウブ、ミカワバイケイソウ、ミズギク、ミカズキグサなどが見られます。



ミズギク
開花期:7月下～8月中



ミカズキグサ
開花期:7月中～8月下



ヌマガヤ
開花期:9月下～10月上

3 南方系植物

アジアの熱帯が起源の植物で、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ヒメミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、ミカワシンジュガヤなどが見られます。



ミミカキグサ
開花期:7月下～12月上



ホザキノミミカキグサ
開花期:7月中～11月下



ヒメミミカキグサ
開花期:8月上～9月下

春の植物と動物



ショウジョウバカマ
開花期:3月上~4月下



ハルリンドウ
開花期:4月上~5月中



カザグルマ
開花期:4月下~5月中



クロミノニシゴリ
開花期:5月中~6月中



ハンカイスウ
開花期:5月中~5月下



ナガボナツハゼ
開花期:5月下~6月上



ホオジロ



ウグイス



イカル

春の花

	3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
フモスミレ												
マキノスミレ												
スルガテンナンショウ												
マルバアオダモ												
チゴユリ												
イカリソウ												
タチシオデ												
エンシュウムヨウラン												
ヤブデマリ												
ミカワバイケイソウ												
ネジキ												
ミヤコイバラ												
イヌツゲ												
ソヨゴ												



ムカシヤンマ



シュレーゲルアオガエル



アズマヒキガエル

夏の植物と動物



カキラン
開花期:6月上~7月上



ノハナショウブ
開花期:6月上~7月上



トウカイコモウセンゴケ
開花期:6月中~8月中



ミズギボウシ
開花期:7月中~8月下



ムラサキミミカグサ
開花期:7月下~9月中



ミズオトギリ
開花期:8月下~9月上



サンコウチョウ



キビタキ



ハッチョウトンボ

夏の花

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
トキソウ																						
サワラン																						
モウセンゴケ																						
ノカンゾウ																						
イヌノハナヒゲ																						
ミカズキグサ																						
ヒメシロネ																						
ホザキノミミカグサ																						
ミミカグサ																						
ミズギク																						
ミカワシンジュガヤ																						
ヒメミミカグサ																						
ムカゴニンジン																						



ヒメヒカゲ



サギソウ
開花期:7月下~8月下



ノリウツギ
開花期:7月下~8月下

秋の植物と動物



サワシロギク
開花期:7月下~10月下



マアザミ
開花期:8月下~11月上



サワギキョウ
開花期:9月下~10月下



スイラン
開花期:10月上~11月下



ヤマラッキョウ
開花期:10月下~11月下



ホンザビンドウ
開花期:11月上~11月下



イワショウブ
開花期:9月中~10月中



サシバ



モズ

秋の花

	9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ホザキノミミカキグサ												
ミミカキグサ												
サワヒヨドリ												
ワレモコウ												
ミソソバ												
ヌマガヤ												
ミカワシオガマ												



ヒメタイコウチ



シラタマホシクサ
開花期:8月中~10月中



ウメバチソウ
開花期:10月中~11月下

葦毛湿原の変遷



西の木道から
東の山を見る

1975年9月20日撮影



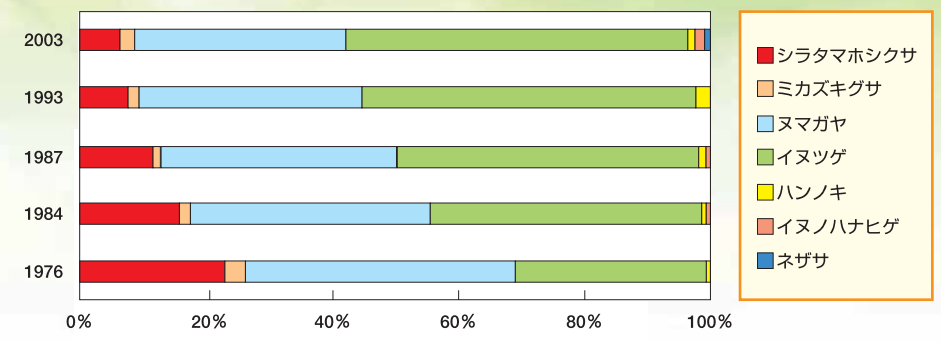
1983年11月26日撮影



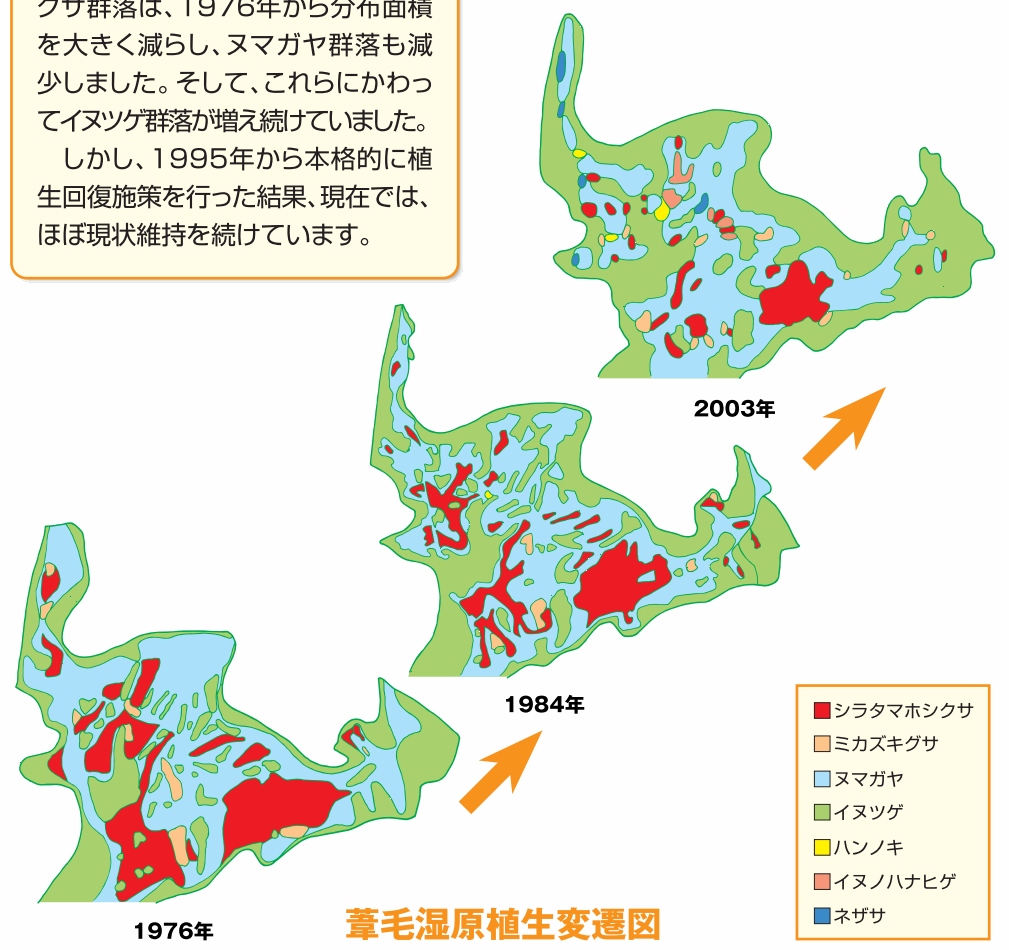
1991年3月2日撮影



葦毛湿原の植物群落配分表



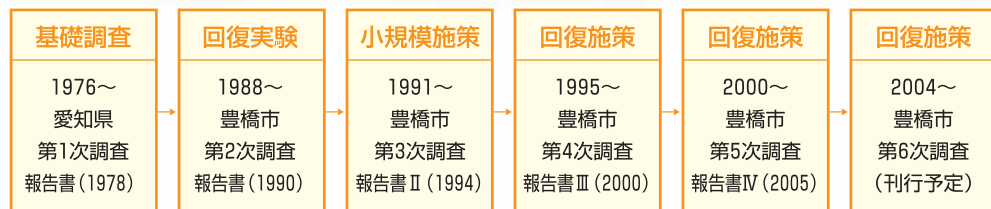
葦毛湿原を代表するシラタマホシクサ群落は、1976年から分布面積を大きく減らし、ヌマガヤ群落も減少しました。そして、これらにかわってイヌツゲ群落が増え続けていました。しかし、1995年から本格的に植生回復策を行った結果、現在では、ほぼ現状維持を続けています。



植生回復への取り組み

葦毛湿原では、愛知県と豊橋市教育委員会などが継続して学術調査を行っています。そして、この調査に基づいた植生回復の取り組みが行われています。

植生回復作業は、湿原の自然環境を維持するために、まず遷移の進んだ植生を人為的に除去する小規模な回復実験を行い、その結果を基により広い面積で小規模施策を行いました。これらの実験により良好な結果が得られたので、湿原全体の保全を考えた回復施策を行っています。



植生回復作業前
1995年2月26日



2シーズン後の様子、ヌマガヤ群落に変化している
1996年8月24日



植生回復作業前
1996年



植生回復作業後
1996年

葦毛湿原に持ち込まれた植物

葦毛湿原には、これまで外国産植物や本来葦毛湿原には自生していない植物が植え込まれたことがあります。単にきれいな花を見たいという理由で、このような植物を持ち込むと、葦毛湿原本来の自然は失われてしまいます。



イトバモウセンゴケ(原産国:アメリカ)



サスマタモウセンゴケ(原産国:オーストラリア)



サスマタモウセンゴケの花

葦毛湿原観察会



毎年春と秋に観察会を行っています。
詳しくは「広報とよはし」をご覧ください。

保護活動の歩み

年代 主な事柄

- 1965 恒川敏雄(三河生物同好会)野沢東三郎(文協副会長)湿原の一部購入
- 1967 豊橋山岳会により最初の遊歩道ができる。
- 1969 弓張山地一体が石巻山多摩県立自然公園に指定される。
- 1974 環境整備工事(解説板・案内板・ベンチ等)
- 1976 県が遊歩道沿いに保護柵を設置する。
- 1985 長尾池の護岸工事、いこいの広場(ベンチ・植栽・フェンス等)設置
- 1987 豊橋市指定天然記念物に指定される。(11/26指定)
- 1988 湿原管理のための基礎実験「植生回復実験」が始まる。
- 1991 湿原管理のための基礎実験「小規模施策」が始まる。
- 1992 愛知県指定天然記念物に指定される。(2/28指定)
- 1992 木道の改修が行われる。(豊橋市)
- 1995 葦毛湿原保護の会発足
- 1995 湿原管理のための「植生回復施策」が始まる。



シラタマホクサ群落に変化している
2005年